

# 水滸伝を知る

# 漢

# たちから学ぶ

## 第二回

森田 実  
(政治評論家)

「水滸伝」は「江湖豪傑伝」と言われるとおり、豪傑たちの物語です。封建時代の農民蜂起の発生と展開、そして失敗の過程の中で、英雄たちがどう行動したかを描いています。『水滸伝』の庄巻は、登場人物たちがやむなく梁山泊に登るところと官軍に反抗するところ



6月5日発売DVD「水滸伝」より

## 文化大革命で批判された『水滸伝』がよみがえる

ろです。人物描写がとくにすぐれています。108人の首領中、魅力的な人物だけでも30余名に及んでいます。中心人物の宋江（百八星の好漢の頂点に立つたれよりも兄弟を重んじる忠義の士）、林冲（願うは奸臣高俅への復讐のみ）、呉用（梁山泊を方略で支えた立役者）、魯智深（鉄拳禅杖で悪しき者を次々に粉碎する巨漢和尚）、武松（虎を素手で打ちのめす武芸の達人）、晁蓋

（梁山泊の礎を築いた好人物）、楊志（屈強な好漢と互角に戦う男）、高俅（好漢を陥れ民衆を苦しめる悪の絶対権力者）らが生き生きと描かれています。「水滸伝」が制約を受けることなく一般の人々に読まれるようになったのは文化大革命の後。今回、映像化された意義は非常に大きいと思います。

プロフィール／もりたみのる

1933年静岡県生まれ。

森田総合研究所代表取締役